

令和5年3月24日

令和4年度在校生保護者 様  
令和4年度卒業生保護者 様

千葉大学教育学部附属特別支援学校  
校 長 細 川 か お り

### 令和4年度学校評価アンケートの結果について

ご多忙にもかかわらず、令和4年度学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。学校評価の概要についてお知らせするとともに、ホームページに公表いたします。

令和4年度の評価について、保護者からの回収率が前年に比べて下がったものの、肯定的評価が回答28項目中26項目で前年を上回りました。（残り1項目が下がり、1項目が同数）さらに、うち満点は5項目でした。また、職員の回収率は100パーセントで、肯定的評価が32項目中20項目で前年比を上回っており（残り9項目が下がり、3項目が同数）、総合的に評価が上がっている傾向にあります。

- ※1 （1＝そう思う）（2＝まあまあそう思う）の合計数値を肯定的評価として、自己評価をしています。
- ※2 前年と比較した増減を保護者・職員それぞれに集計した結果として表記しました。特に100％と前年比で増減があった項目を抽出して記載しました。

#### I 情報発信・連携について（共通）

【保護者】 5項目全て90％以上で前年比増（うち、番号2で100％）と肯定的な評価でした。自由記述からは、面談等で保護者の声に耳を傾けてもらっているという実感が得られている意見がありました。

【職 員】 5項目中4項目で前年比増、番号3は微減でした。自由記述からは「学校だより」等を活用して繰り返し保護者等に向けたアピールが評価された一方、コロナ禍での交流や教育実習に関する大学との連携に関しては課題や改善の余地があると感じる職員がいました。各種見学会の見直しを図り広く情報が発信できるよう努めて参ります。

#### II 環境・安全について（共通）

【保護者】 5項目中4項目で前年比増（うち、番号7・8は100％）番号8・9は各6％増、番号6は6％の減。自由記述では校内が清潔であるという意見や掲示物を楽しみにしているという意見がありました。

【職 員】 5項目中4項目で前年比増、番号9は9％、番号10は7％増と職員の危機管理意識が高まっています。番号6は微減。自由記述は整理整頓の際に物理的に収納するスペースが少ないという意見がありましたが、限られたスペースで効率的に収納したり、不要な物品を整理したりする工夫が必要であることを認識しています。

校内の美化については保護者・職員ともに評価が下がったという結果をうけ、次年度は職員の美化意識を向上できるような周知と校内清掃に関してPTAの協力を得るなど校内美化を意識します。

#### III 年間計画・行事について（共通）

【保護者】 4項目全てが前年比増（うち、番号13は100％）、番号12は8％増。「ふよう祭」では入場制限をとりつつ一般来場が実現したこと、PTA文化委員を中心とした出店が実現したことなどから満足度を反映したものと推測できます。儀式的行事について、入学式はコロナ禍で縮小であったが、卒業式は証書授与の際にマスクを外す、全校で校歌斉唱が実現するなど部分的な緩和がみられたことから保護者の賛同を得たと考えます。自由記述でも行事を楽しみにしている意見がありました。

【職員】 4項目中2項目が前年比増、番号12は8%減、番号14は5%減。番号12については、保護者と評価が大きく分かれた項目。自由記述からもコロナ禍での行事や宿泊学習については職員の願いと制限下での現実とのギャップから高い評価につながらない傾向がみられます。「働き方改革」の観点からも行事の見直しや年間計画の整理などを意識する意見が複数あがっています。これまでも推進してきた働き方改革ですが、今後もいろいろな視点をもって取り組んでいきます。

#### IV 教育活動について（共通）

【保護者】 8項目中7項目が前年比増（番号21は100%）、番号19は増減なし。番号20・22は前年比8%増。自由記述は、楽しい授業・行き届いたサポートへの感謝、目当てを説明し見通しをもって活動しているという評価がある一方、個人の進路決定に対して十分でないという意見もありました。適切な情報提供や研修会の実施と学校・家庭のコミュニケーションを大切にした進路指導を再度認識して取り組んで参ります。

【職員】 8項目中4項目が前年比増、番号16は6%増、番号18は15%増、番号20・2は7%増、2項目は増減なし、2項目が減（うち、番号19が5%減）。自由記述は地域を含めた交流を求める意見が複数ありました。「社会に開かれた教育課程」として保護者・職員ともに期待されているととらえています。アフターコロナとして活動制限が減っていくことを見据えて、外部との交流や連携にかかわる活動を見直しつつ実現につなげていくよう検討します。

#### V 職員について（共通）

【保護者】 3項目全てが前年比増、番号23は6%増。自由記述は教職員の熱意と対応がとても良いと思う、という意見があがりました。

【職員】 3項目全てが前年比増、番号24は6%増、番号25は7%増。自由記述は基本となる挨拶、マナー、児童生徒への呼称などについて意識の向上を提案する意見がありました。日常慣れてしまい見落とされてしまうようなことに対しても目を向けることが児童生徒への指導・支援には不可欠であると認識しています。

#### VI 児童・生徒について（共通）

【保護者】 3項目全てが前年比増、番号27は10%増、番号28は12%増。

【職員】 1項目は増減なし。番号27は微減、番号28は8%減。番号28については、保護者と職員の評価が大きく分かれました。保護者は日々の子どもの成長を実感できている一方、職員は教育として広い経験や高い質を求めていくためなかなか満足感が得にくい内容であります。日々の教育実践の中で些細な成長を認め伸ばしていける視野が求められています。

#### VII 附属の役割（職員のみ）

【職員】 4項目中3項目が前年比増、番号30は15%増、番号32は7%増。自由記述は教育実習に関する内容（学生の基礎基本の部分で大学に期待する声）が複数ありました。教員養成の役割を担う本校だからこそ、多くの学生を受け入れていることは理解できている一方、コロナ禍で学生が十分な事前指導を経ているかどうかは教育現場で関わる職員に少なからず影響を及ぼしていることがわかります。学校と大学の連携という観点からも現場のニーズを伝えていきます。

今回のアンケートでは、本校に対する様々な思い、ご意見、ご要望など多数いただきました。学校として真摯に受け止め、今後も保護者の皆様のご協力をいただきながら、子どもたちのためによりよい教育実践を行って参ります。

## 令和4年度 学校評価アンケートのまとめ

- (1) 対象者：保護者（回収率83.1%） 教職員（100%）  
 (2) アンケート項目：保護者28項目 教職員32項目 ※1から28項目までは共通  
 以下、質問項目及び結果を示す。

【評価基準】 1＝そう思う 2＝まあまあそう思う ……肯定的評価  
 3＝あまりそう思わない 4＝そう思わない ……否定的評価  
 ※数値の単位：％ 無回答は人  
 （無回答を除外した数を母数として算出）

### I 情報発信・連携

番号	評価項目	回答者	1	2	3	4	無回答	R4	R3
								肯定的評価	肯定的評価
1	保護者に、学校目標や学校運営の重点目標をわかりやすく伝えている。	保護者	63%	33%	2%	4%		96%	94%
		職員	56%	36%	6%	3%		89%	79%
2	保護者に、各種たよりや連絡帳等で、必要な情報や子どもの様子をわかりやすく伝えている。	保護者	83%	17%	0%	2%		100%	96%
		職員	69%	17%	11%	3%		92%	91%
3	ホームページや学校公開（土曜スクール、学校見学会、オープンスクール）、公開研究会等で学校のことを外部に発信している。	保護者	67%	29%	6%	0%		96%	94%
		職員	72%	19%	8%	0%		86%	88%
4	担任や学校は、保護者の声に耳を傾けて、連携を取りながら、教育活動や学校運営を行っている。	保護者	79%	17%	2%	2%	1	96%	94%
		職員	44%	33%	19%	3%		92%	88%
5	学校は、大学、附属学校園との連携、交流及び共同学習を進めながら学校運営を行っている。	保護者	42%	54%	4%	2%		96%	82%
		職員	11%	67%	17%	6%		78%	71%

### II 環境・安全

番号	評価項目	回答者	1	2	3	4	無回答	R4	R3
								肯定的評価	肯定的評価
6	学校内は、美化・整理整頓が行き届き、清潔感がある。	保護者	67%	23%	10%	2%		90%	96%
		職員	11%	67%	17%	6%		78%	82%
7	子どもが安心して学べるよう、安全な校内環境になっている。	保護者	79%	21%	0%	2%		100%	96%
		職員	28%	47%	22%	3%		75%	71%
8	校内に掲示されているお子さんの作品や活動の様子は、分かりやすいものになっている。	保護者	75%	25%	0%	2%		100%	94%
		職員	47%	42%	8%	0%	1	89%	88%
9	お子さんの様子の変化に目を配り、病気やけがの際の対応は適切であると思いますか。	保護者	73%	27%	0%	2%		100%	94%
		職員	58%	36%	6%	0%		94%	85%
10	学校は、地震災害への対応や、事故を防ぐための対応など、安全管理や危機管理に努めている。	保護者	73%	25%	0%	4%		98%	92%
		職員	56%	28%	11%	3%	1	83%	76%

### Ⅲ 年間計画・行事

番号	評価項目	回答者	1	2	3	4	無回答	R4	R3
								肯定的評価	肯定的評価
11	年間の計画は教職員、子ども、家庭にとって無理のない、適切なものになっている。	保護者	71%	25%	4%	2%		96%	92%
		職員	17%	47%	22%	14%		64%	62%
12	魅力のある学校行事（運動会やふよう祭など）が実現されている。	保護者	79%	19%	0%	4%		98%	90%
		職員	42%	42%	14%	3%		83%	91%
13	入学式・卒業式など儀式行事は、趣旨に合った適切なものとなっている。	保護者	77%	23%	0%	2%		100%	96%
		職員	56%	39%	3%	0%	1	94%	91%
14	各学部の行事は、子どもたちの発達段階に応じた適切なものとなっている。	保護者	73%	25%	0%	4%		98%	94%
		職員	47%	42%	11%	0%		89%	94%

### Ⅳ 教育活動

番号	評価項目	回答者	1	2	3	4	無回答	R4	R3
								肯定的評価	肯定的評価
15	教育活動は、子どもたちが自分から目当てと見通しをもって意欲的に取り組める内容となっている。	保護者	67%	29%	4%	2%		96%	94%
		職員	44%	50%	6%	0%		94%	94%
16	各学部の教育活動は、卒業後、自立し、働く活動を中心とした社会生活につながるような内容となっている。	保護者	60%	31%	8%	2%		92%	88%
		職員	42%	53%	6%	0%		94%	88%
17	教育課程の中心となっている、遊び、日常生活の指導、生活単元学習や作業学習は、児童生徒の成長に十分効果を発揮している。	保護者	73%	23%	4%	2%		96%	94%
		職員	56%	39%	6%	0%		94%	94%
18	進路に関する情報の提供や研修会は十分に行われている。	保護者	52%	35%	10%	4%		88%	86%
		職員	50%	36%	14%	0%		86%	71%
19	遊び、生活単元学習、作業学習は、他の取り組み（例えば、自立活動や職業/家庭）と連携が図れている。	保護者	60%	31%	8%	2%		92%	92%
		職員	44%	42%	14%	0%		86%	91%
20	「社会に開かれた教育課程」のために地域資源の活用や地域貢献など地域との連携を進められている。	保護者	38%	42%	21%	2%		79%	71%
		職員	33%	44%	17%	6%		78%	71%
21	個別の教育計画（個別の指導計画、個別の教育支援計画、個別の移行支援計画）について保護者と十分話し合い、経過や結果について丁寧な説明をしている。	保護者	71%	29%	0%	2%		100%	96%
		職員	53%	36%	11%	0%		89%	91%
22	パソコンやタブレットなどのICT機器を活用した取り組みは、有効に行われている。	保護者	44%	33%	23%	2%		77%	69%
		職員	31%	58%	8%	3%		89%	82%

## V 職員

番号	評価項目	回答者	1	2	3	4	無回答	R4	R3
								肯定的評価	肯定的評価
23	教職員は、熱意と情熱をもって教育活動にあたっている。	保護者	92%	6%	2%	2%		98%	92%
		職員	78%	17%	3%	3%		94%	91%
24	教職員は、子どもの気持ちを受け止めてきめ細かく対応している。	保護者	77%	17%	4%	4%		94%	90%
		職員	75%	22%	0%	3%		97%	91%
25	教職員の言葉遣い・態度など、職業人としてのマナーは適切である。	保護者	85%	10%	0%	6%		96%	92%
		職員	56%	36%	3%	6%		92%	85%

## VI 児童・生徒

番号	評価項目	回答者	1	2	3	4	無回答	R4	R3
								肯定的評価	肯定的評価
26	子どもは、「今日に満足し、明日を楽しみに待つ」学校生活を過ごしている。	保護者	85%	10%	0%	6%		96%	94%
		職員	47%	50%	3%	0%		97%	97%
27	子どもが、自分からやろうとすること（自分でやりたいと思うこと）が増えてきている。	保護者	77%	21%	2%	2%		98%	88%
		職員	58%	39%	3%	0%		97%	100%
28	子どもに、挨拶や着替え、社会のルール、働くことの意義など自立するために必要な力が身に付いてきている。	保護者	63%	35%	2%	2%		98%	86%
		職員	50%	39%	11%	0%		89%	97%

## VII 附属の役割

番号	評価項目	回答者	1	2	3	4	無回答	R4	R3
								肯定的評価	肯定的評価
29	研究校として、実践的研究を行い、有用な取り組みを外部に発信している。	職員	44%	31%	19%	6%		75%	79%
30	県内や地域における特別支援教育の推進に努めている。	職員	44%	39%	14%	3%		83%	68%
31	大学や教育学部と連携が図られ、お互いに必要な関係となっている。	職員	36%	33%	22%	8%		69%	68%
32	教育実習生に必要なかつ適切な指導を行い、有為な教員養成を行っている。	職員	44%	31%	19%	6%		75%	68%

## 令和4年度 学校評価アンケートの結果

